

がん化学療法指示書

登録番号 232

作成日 2019/1/9

レジメン名	GBDCA+PTX+Pembrolizumab
診療科・対象疾患	(呼)扁平上皮非小細胞肺癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	4コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
キイトルーダ	ペムプロリズマブ	200mg/body	Day1
パクリタキセル	パクリタキセル	200mg/m ²	Day1
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=5(max6)	Day1

	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール																
							day1													day21			
治療内容	注射	Rp1	生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●																
		Rp2	パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン	●																
			デキサート(6.6mg)	1瓶																			
			ファモチジン(20mg)	1瓶																			
		Rp3	癌 キイトルーダ(ペムプロリズマブ)	200mg	30分	点滴静注メイン	●																
			生理食塩液	100mL																			
		Rp4	生理食塩液	50mL	15分	点滴静注メイン	●																
							経過観察用																
		Rp5	癌 パクリタキセル	200mg/m ²	180分	点滴静注メイン	●																
			生理食塩液	500mL																			
		Rp6	癌 カルボプラチン	AUC	60分	点滴静注メイン	●																
			生理食塩液	250mL																			
その他必要薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・レスタミンコーワ(10mg)5錠をルート確保前に内服 ・アプレピタント(125mg):1cap分1 ルートキープ時に内服(day1) ・アプレピタント(80mg):1cap分1 朝食後に内服(day2,3) 																						
総投与時間	総投与時間:5時間																						
血管外漏出リスク	パクリタキセル:起壊死性抗がん剤 カルボプラチン:炎症性抗がん剤 キイトルーダ(ペムプロリズマブ):非壊死性抗がん剤																						
投与時の注意事項	パクリタキセルはアルコール過敏の有無を確認する キイトルーダ(ペムプロリズマブ)、パクリタキセルはフィルター付きルート要																						
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、キイトルーダ(ペムプロリズマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠																						